

横須賀市野比の非海産貝類

河辺訓受*

Non-marine mollusks in the Nobi area, Yokosuka City

Kunitsugu KAWABE*

横須賀市内でゲンジボタル群生地のひとつである野比地域の淡水貝（一部はホタルの幼虫の餌となる）ならびに陸貝の分布状況の調査が行われ、概況報告（横須賀市ホタルの里づくり基本計画策定調査団, 1988; 横須賀市野比のゲンジボタル生息実態調査団, 1988; 河辺, 1989）されているが、今回三浦半島の他地域との比較も含めてその特徴を報告する。調査には相模貝類同好会会員ならびに故前田和俊氏の多大な協力を得た。

調査地域と調査方法

調査地域は、久里浜緑地を中心とした5本の谷戸（第1図）の水路沿いと緑地付近の山林内であり、採集および観察を主としたものであるが、微小陸貝は落葉を持ち帰って顕微鏡下で精査した。調査は1987年6月～1988年7月までの期間に5回実施した。確認された種を第1表に示す。

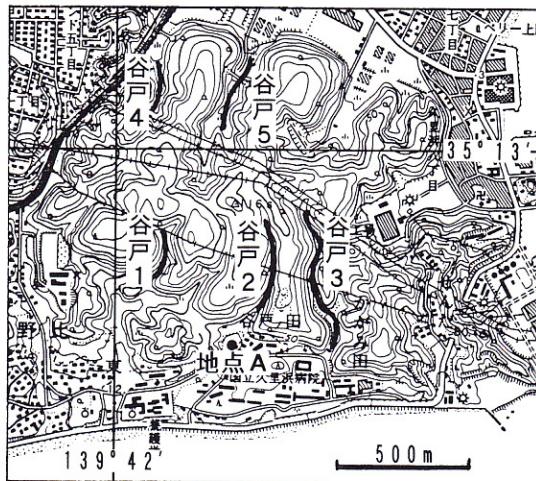
調査結果

淡水貝

(1)各谷戸の水系にはゲンジボタルの幼虫の餌となっているカワニナが多数確認され、特に谷戸2, 3は生息密度が高い。本種は一般に殻頂が欠損され易いが、ここでは欠損のない個体の比率が高い。

(2)谷戸2の入口の地点A付近の水田内からはヒラマキミズマイマイ、ヒラマキモドキ、ドブシジミの3種類が発見された。前2種は三浦半島で初記録と考えられる。ドブシジミは鎌倉で1986年に発見されている（江川, 1988）が、水田内における生息は珍しい。

(3)水田は、稲の刈入れに伴ない、9月には水落としされたので前2種の多数の死殻を確認した。しかし、1988年の調査では、3種類とも再確認できたので、どのように越冬して、種を維持しているのかは、大変興味深い。



第1図 横須賀市野比の非海産貝類調査地域。
地形図は国土地理院1985年発行の2.5万分の1の「浦賀」を使用。

(4)谷戸3には休耕田があり、ヨシが繁茂した湿地となっている。その環境は陸貝の稀産種ナタネキバサナギガイの生息に一見好適と思えたので詳細な調査をしたが、湿地源流付近にヒメモノアラガイを確認したにすぎない。

(5)水質汚染の指標種サカマキガイは全く認められなかった。良好な水質が保たれていると考えられる。

陸貝

(1)三浦半島産約50種のうちの40%にあたる21種を確認した。限られた面積のなかでの種類数としては、かなり豊富であり、自然状態が良好であると考えられる。

(2)特にベッコウマイマイ科の種類が多く、三浦半島産11種のうち8種を確認した。近隣の武山でもベッコウマイマイ科が多種確認されている（相模貝類同好会, 1985; 第3回自然環境保全基礎調査検討会無脊椎動物分科会, 1988）が、それを除くと三浦半島では他に例がない。特にウラジロベッコウは1m²に2～3個体の高密度生息地を久里浜緑地頂上付近など数ヶ所で確認した。マルシタラも調査地域一帯に広く分布している。また、鎌倉以外では知られていないウメムラシタラが2ヶ所で発見された。

(3)地点A付近の水田の畔でヒメオカモノアラガイを多数発見した。この種は植木などに付着して、人為的に分布を広げることがある。三浦半島での初記録は他所から人為的に運ばれたと考えられた1977年の久比里における

* 相模貝類同好会 Sagami Shell Club, c/o Yokosuka City Museum, Yokosuka 238.

原稿受付 1990年9月11日 横須賀市博物館業績 第409号

キーワード：淡水貝、三浦半島、陸貝 Key words: fresh water mollusk, land snail, Miura Peninsula

第1表 横須賀市野比の非海産貝類.

学名は黒田(1963)・湊(1968)による.

科名	種名	確認地
淡水貝		
カワニナ	カワニナ <i>Semisulcospira bensonii libertina</i>	谷戸 1~4, 5
モノアラガイ	ヒメモノアラガイ <i>Austropeplea ollua</i>	谷戸 3
ヒラマキガイ	ヒラマキモドキ <i>Polypyxis hemisphaerula</i>	地点 A
	ヒラマキミズマイマイ <i>Gyraulus chinensis</i>	地点 A
カワコザラ	カワコザラ <i>Pettanyulus nipponica</i>	谷戸 2
ドブシジミ	ドブシジミ <i>Sphaerium japonicum</i>	地点 A
陸貝		
ヤマタニシ	ミジンヤマタニシ <i>Nakadaella micron</i>	谷戸 5
ムシオイ	ムシオイ <i>Chamalycaeus nipponensis</i>	谷戸 2, 3, 5
オカモノアラガイ	ヒメオカモノアラガイ <i>Neosuccinea horticola</i>	地点 A
キセルガイ	ヒカリギセル <i>Zaptychopsis buschi</i>	谷戸 1~3, 5
オカクチキレガイ	オカチョウジガイ <i>Allopeas clavulinum kyotoense</i>	谷戸 1, 2, 5
ナタネガイ	ナタネガイ <i>Punctum amblygonum</i>	谷戸 3, 5
ナメクジ	ヤマナメクジ <i>Meghimatium fruhstorferi</i>	谷戸 3
ベッコウマイマイ	カサキビ <i>Trochochlamys crenulata crenulata</i>	谷戸 2, 3, 5
	オオウエキビ <i>Trochochlamys fraterna</i>	谷戸 3, 5
	キビガイ <i>Gastromontella stenogrya</i>	谷戸 2, 3, 5
	ヒメベッコウ <i>Discoconulus sinapidum</i>	谷戸 3, 5
	コシタカシタラ <i>Sitalina circumcincta</i>	谷戸 2, 3, 5
	ウメムラシタラ <i>Sitalina japonica</i>	谷戸 3, 5
	マルシタラ <i>Parasitala reinhardtii</i>	谷戸 2~4, 5
	ウラジロベッコウ <i>Urazirochlamys doenitzii</i>	谷戸 2~4, 5
ナンバンマイマイ	ニッポンマイマイ <i>Satsuma japonica japonica</i>	谷戸 2, 3, 5
オナジマイマイ	キヌビロードマイマイ <i>Nipponochloritis pumila pumila</i>	谷戸 3
	エンスイマイマイ <i>Trishoplita conospira</i>	谷戸 5
	ミスジマイマイ <i>Euhadra peliomphala peliomphala</i>	谷戸 1~4, 5
	ヒダリマキマイマイ <i>Euhadra guaesita guaesita</i>	谷戸 4
ネジレガイ	タワラガイ <i>Sinoennea iwakawa</i>	谷戸 2, 3, 5

植木鉢のものである。野比の分布が人為的なものか、自然のもののかは不明である。

(4)大型の陸貝としては、ミスジマイマイが目立ち、特に谷戸 2~4 は水路際の樹上で多数認められた。一方ヒダリマキマイマイは谷戸 4 で幼貝 1 個体を確認したに過ぎず、その生息密度は極めて低いと考えられる。

(5)前鰐類では普通種のゴマガイが確認されなかったが過去の調査結果(相模貝類同好会, 1985; 第3回自然環境保全基礎調査検討会無脊椎動物分科会, 1988)でも三浦半島南部では極めて少ない。また、キセルガイ科もヒカリギセル 1 種は予測されたことであり、むしろキセルモドキ発見の可能性がある。

引用文献

第3回自然環境保全基礎調査検討会無脊椎動物分科会 1988. 陸産及び淡水産貝類(動物分布把握に向けての第1回報告). 第3回自然環境保全基礎調査動植物分

布調査報告書. 763ページ. 環境庁.

江川和文 1988. 神奈川県産ドブシジミの小知見. みたまき(相模貝類同好会会報), (22): 32~34.

河辺訓受 1989. ホタルの里の淡水貝. みたまき(相模貝類同好会会報), (23): 24~27.

黒田徳米 1963. 日本非海産貝類目録. 71ページ. 日本貝類学会.

湊 宏 1988. 日本陸産貝類総目録. 294ページ. 日本陸産貝類総目録刊行会, 和歌山.

相模貝類同好会 1985. かたつむり. 横須賀市博教育資料シリーズ, (37). 10ページ.

横須賀市ホタルの里づくり基本計画策定調査団 1988. ホタルの里づくり基本計画策定委託報告書. 134ページ.

横須賀市野比のゲンジボタル生息実態調査団 1989. 横須賀市野比のゲンジボタル生息実態調査概報. 横須賀市文化財調査報告書, (19), 67ページ. 横須賀市教委.